

検証!! 眼内レンズマテリアルの 重要性について

座長

東海大学医学部医学科専門診療学系眼科学 教授
河合 憲司先生



現在、優れた光学的特性をはじめとした高付加価値眼内レンズが使用され始めておりますが、それらによる術後のQOVの向上は、術者および患者さんにとってもIOL選択の重要なファクターとなっています。

しかしながら中長期的な見地から考えた場合、これらの優れたレンズ性能を生かすためには優れたレンズ材料でこそ初めて機能するものであり、最も基本的で且つ最も重要な問題であると考えます。

今回は眼内レンズの基本ともいえるこの原点に立ち返りたいと思います。

眼内レンズの材質特性および光学特性については、たいへん詳しい永田豊文先生よりご紹介いただきます。

また、昨今のライフスタイルの変化により生活習慣病等による網膜・硝子体疾患の増加など、症例に応じたIOLの選択も重要なファクターの一つとなっています。眼内レンズの光学的性能が如実に反映される網膜・硝子体手術におきましては、ご専門である井上真先生よりご紹介いただきます。

演者1



眼内レンズの材質特性および
光学特性に関する考察

永田眼科 院長
永田 豊文先生

演者2



網膜硝子体手術における
眼内レンズの選択

杏林大学医学部 眼科学 准教授
井上 真先生

日時 — 2010年11月13日(土) 15:30 ~ 16:30

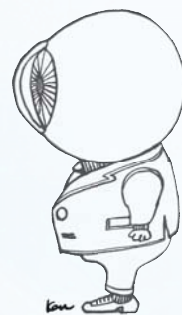
会場 — 神戸ポートピアホテル(B1F 和楽)

検証!! 眼内レンズマテリアルの 重要性について

座長

東海大学医学部医学科専門診療学系眼科学 教授
河合 憲司先生

1981年 東海大学 医学部 医学科 卒業
岐阜大学 医学部 眼科 入局
1984年 岐阜大学 医学部 眼科 助手
1987年 岐阜大学 医学部 眼科 講師
1990年 米国 デューク大学 網膜硝子体臨床研究
1991年 大垣市民病院 眼科 医長
2000年 岐阜大学 医学部 客員臨床系医学 助教授
2002年 東海大学 医学部 感覚学系 眼科学 助教授
2005年 東海大学 医学部 医学科 専門診療学系眼科 教授
現在に至る



演者 1

**眼内レンズの材質特性および
光学特性に関する考察**

永田眼科 院長 **永田 豊文**先生

1983年 浜松医科大学 卒業・眼科入局
1984年 清水厚生病院 眼科 勤務
1985年 浜松医科大学 眼科 助手
1988年 榛原総合病院 眼科 部長
1997年 浜松医科大学 眼科 講師
2000年 浜松市にて開業
現在に至る

演者 2

**網膜硝子体手術における
眼内レンズの選択**

杏林大学医学部 眼科学 准教授 **井上 真**先生

1989年 慶應義塾大学 医学部 卒業
慶應義塾大学 医学部 眼科教室 入局
1990年 国家公務員共済組合連合会立川病院 眼科 勤務
1992年 日野市立病院 眼科 勤務
1994年 杏林大学 医学部 眼科に国内留学 (Clinical fellow)
1995年 慶應義塾大学 医学部 眼科学 助手
1997年 米国デューク大学 アイセンターに留学 (Research fellow)
2000年 慶應義塾大学 医学部 眼科学 助手
2003年 慶應義塾大学 医学部 眼科学 専任講師
2007年 杏林大学 医学部 眼科学 准教授
現在に至る